



チューリップ 四季だより

サルスベリ【猿滑】 〈ミソハギ科サルスベリ属の小高木〉

大花壇に咲く赤や黄色のカンナとともに、夏のチューリップ公園をピンク色に彩る『サルスベリ』。猿も滑るほど幹がつるつるしているのでそのような名前がついたそうです。初夏から秋までと花期が長いので『百日紅（ヒャクジツコウ）』とも呼ばれています。



2010
Vol.49



随想

家族の笑顔と共に キッチンガーデニング

高波花と緑の推進協議会 頭取 宮野 裕子

平成十四年に退社して孫守のため家庭に入ると同時に地区のグリーンキーパーのお誘いがありました。花好きだった自分は花壇づくりと共に会の皆さんとの会話の中に楽しさを感じ、花づくりの勉強をさせていただき、我が家でも花づくりを始めました。

晩秋の頃には、近くの転作田に球根組合の方がチューリップの植え込み作業に入られます。春の訪れと共に色とりどりの花が次から次へと見事に咲いていきます。自宅でも玄関前に、孫達がそれぞれ自分のプランターに植え込み、春にはパンジーやムスカリと共にチューリップが咲き誇り、入園式や進級式を祝ってくれています。

市道から七十メートルの宅道沿いの両側に、宿根草を数多く取り入れ、一年草をポインティックに使い、色のバランスを考えながら夏花壇づくりをしていますので、四季折々の花が楽しめます。

「花壇づくりは土づくりから」と強く思います。毎年気象条件が違っ

ています。空梅雨だったり、長雨だったり、梅雨が明けると一転カンカン照り。そういった色々な条件を満たしてくれるのが土づくりだと思います、十一月に入る頃には牛糞堆肥や花ガラ、落ち葉、生ごみ等、家庭で作った堆肥をたつぷりと混ぜ込んでおきます。

砺波平野には田や畑が多く、畑の隅に仏壇やお墓にお供える花を植えているのは、昔からどの家庭でもよく見られる風景です。私の家でもそういった地域性を取り入れた、自由に出入りできるキッチンガーデンの花壇となっています。



春には孫と共にイチゴ狩りです。赤くて大きなのがあるとその場でほおぼつてしまう孫娘、パンの上にたつぷりと甘いジャムをのせてほおばる食欲旺盛なお兄ちゃん、ブルーベリーが色濃く実ると、蛙が怖くてもがんばって畑へ入ってくる末っ子、それぞれ楽しみのひとつです。その後、ジャガイモ、玉ねぎの収穫、トマト、なす、胡瓜、ピーマンといった夏野菜等が家族の健康を支えてくれています。そして、みんなの笑顔が私のガーデニングを支えてくれているのです。また、家族の応援と理解に感謝しています。

花づくりは地域づくり、人づくりだと呼びかけながら、微力ですが、これからも花のまちづくりに協力して行きたいと思っています。

略歴

みやのひろこ
宮野 裕子



受賞歴

- 砺波市高波在住
平成十四年
高波花と緑の推進協議会
グリーンキーパー
- 平成二十二年
高波花と緑の推進協議会 頭取
- 平成十七年度、平成二十年度、
平成二十一年度において、
富山県花のまちづくりコンクール
最優秀賞を受賞
- 平成二十二年
富山県花のまちづくり推奨花壇
五つ星に認定



富山県オリジナル
チューリップ新品種

『春のあわゆき』誕生！

春のあわゆき（砺波育成一一六号）

《育成期間／一九八八～二〇〇九年》

この花は、冬に咲かせる促成栽培が可能で白系の八重咲き品種をつくることを目的に育成されました。富山県が育成した二十九番目の品種です。

初の名称一般公募

富山県は、昭和二十六年より農林水産省から委託を受け、チューリップ球根の育種を行っています。今までは、育成したチューリップの品種

名は農林水産省が決定していましたが、平成十九年に新品種命名登録要領が廃止され、品種名は育成者が決定できることになりました。

「砺波育成一一六号」は全国の皆様から愛される名称となるよう品種名を一般公募し、県内外から延九千三百五十二名の応募があった中から「春のあわゆき」と命名されました。「あわゆき」は白くふわふわしたイメージを表現し、万葉集の中でも詠まれるなど、なごり雪と満開のチューリップから早春の情感を醸し出しています。

春のあわゆき

特徴：八重咲き品種には珍しい白系で花の中央部が盛り上がっている。富山県では4月下旬に開花し、開花期間は16日と長い。茎葉が強く風雨による折損被害を受けにくい。



母 ローズビューティー

白とピンク2色の一重咲き
4月下旬に開花
促成適応性のある品種

父 モンテカルロ

黄色の早生八重咲き
3月下旬～4月上旬に開花
促成適応性のある品種

写真及び資料提供：富山県農産食品課

秋植え球根を植えよう！

記録的な猛暑の夏もようやく終わり、十月後半から秋植え球根の植え付け時期です。『チューリップ』や『スイセン』の球根内部では花芽が出来上がり、気温も下がって発根条件が整います。

庭植えの場合

日当たりと水はけの良い場所を選び、土を深く耕し緩効性の化成肥料を施して土とよく混ぜて畝をつくります。球根二個分の間隔をあけて並べ終わったら、移植ゴテで十五センチくらいの深さの植え穴を掘って球根を埋めてやります。たくさん球根を植えるときは、上土をよけて平らにならし、球根を並べた上に土をかぶせていくやり方で。最後にたっぷり水をあたえ、品種名を書いた名札を立てて完成！

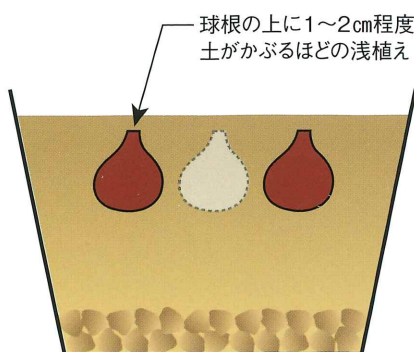
青色の花を咲かせるムスカリの球根を縁取りに植えるのもいいでしょう。チューリップは大変水をほしがるので、土が乾いたら十分に水をあたえます。

スイセンは植え放しでも毎年開花しますが、数年に一度は掘り上げ、分球した球根を植え直してやれば立派な花を楽しめます。植え放しにする場合は、落葉樹のそばなど夏場に日陰となる場所がいいでしょう。

鉢植えの場合

十分根を張らせるためコンテナやプランターはできるだけ深いものを用意し、底にゴロ土、その上に用土（赤玉土七・ピートモスか腐葉土三）を入れて球根を並べます。間隔は球根一個分あけ、球根の上に一～二センチ程度土がかぶるほどの浅植えとします。七号鉢なら三球くらい。冬の間、土が乾きやすいので水やりを忘れないように。ビオラなど耐寒性のある花苗を寄せ植えすれば、かん水の目安にもなります。

（文：富山県花総合センター 山田信明）





淡い紫色が綺麗なアガパンサス



つる植物で高低差のある立体的な花壇



色とりどりに咲くマリーゴールドやトレニア

平成九年、二〇〇〇年とやま国体に向け、旧庄川町が剣道会場に決まり、主要道路の環境美化が進められました。それと同時に婦人会会員が中心となりプランターを並べ、全国の選手を花で迎える準備が始まりました。それ以後、花壇づくりに対する気運も高まり、年々花壇面積も増え、現在では百五十平方メートルに至っています。

この夏秋花壇にはベゴニアやトレニア、マリーゴールド、コリウス、アガパンサス、トリトマ等多種多様な花々が植えられています。高低差のある花壇には、色とりどりの花が咲き、とても素敵です。ぜひご覧ください。

イベント案内

チューリップ四季彩館 秋季企画展 第9回 となみ球根まつり

～第60回記念 2011となみチューリップフェア パートナーシップ事業～

と き 10月8日(金)～11日(月・祝)
午前9時～午後5時
と ころ チューリップ四季彩館ホール

日本一の品ぞろえ！
寄せ植え体験できます！

入場無料



ミュージアムショップ

新入荷！秋に植えよう！
チューリップ球根



カフェかくれ庵

2010秋パフェ 650円

秋限定！モンブランソフトとフルーツのハーモニーをお楽しみください。



富山県花総合センター 秋を彩る花まつり2010

入場無料

と き 10月15日(金)～17日(日)
午前9時～午後4時半
と ころ 富山県花総合センター (エレガガーデン)

富山県花総合センター (エレガガーデン)
〒939-1383 富山県砺波市高道46-3
TEL (0763) 32-1187 FAX (0763) 32-1219

秋に咲くバラエティに富んだ宿根サルビアの魅力と利用方法等をご紹介します。



来年のとなみチューリップフェアのテーマ&会期が決まりました!! 第60回記念「2011となみチューリップフェア」 ～60th Anniversary～

チューリップでつなぐ未来への架け橋

会 期 平成23年4月22日(金)～5月5日(日)

皆様のご来場
こちらよりお待ちしております。

